

第25回四国クラブユースサッカー新人大会（

大会要項

- 1 主 旨 公益財団法人日本サッカー協会及び、一般社団法人日本クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名 称 2022年度 第25回 四国クラブユースサッカー新人大会（U-15）
- 3 主 催 一般社団法人 四国サッカー協会 ・ 四国クラブユースサッカー連盟
- 4 主 管 四国クラブユースサッカー連盟
- 5 期 日 ~~第21世~~ ・ グループステージ
~~第21世~~ ・ ノックアウトステージ
- 6 会 場 ~~市立~~スポーツガーデン、徳島市陸上競技場、三野健康防災公園、緑ヶ丘サッカー場、土佐西南大規模公園球場
- 7 出場資格 ~~種別~~加盟登録日本サッカー協会及び一般社団法人日本クラブユースサッカー連盟に~~第~~までに加盟したチームであること。
 - 1) 出場選手は、他のクラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。~~第~~降成出生者を対象とする。~~第~~加盟登録選手はサッカー協会及び~~第~~の出生者を対象とする。
 - 4) 出場チームの同一下部組織第4種（日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ）登録選手に限り、種別変更（移籍）せず、第4種登録選手のままの出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登録は、いずれか1チームからに限定するものとする。また、同じクラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
 - 5) 各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。但し、写真添付により顔の認識ができるものであること。~~第~~の~~第~~は~~第~~選手証を登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
 - 6) 予選から本大会に至るまでに、一つのチームで大会メンバーに登録した選手は、異なるチームへの移籍後、再び大会メンバー登録をすることはできない。なお、都道府県内の大会で、予選名が付されていない場合であっても、その大会が実質的に予選を兼ねている場合は、その大会は予選と同じ扱いとなり、上記を適用する。
- 8 その他 ~~第~~協会が順位組分け及び選手権（~~第~~）を決定する。

大会規程

競技方法

- 1(**グループ**に分けグループステージを行う。
その後、順位別ノックアウトステージを行う。
- 2(**2022年度**、日本サッカー協会発行「サッカー競技規則
- 3(**試合時間はダブルステージにて**競技時間内に勝敗が決まらない場合は引き分けとする。また**敗方式による勝敗を決定する**において競技時間内に勝敗が決まらない場合は、
- 4(各グループステージの順位決定は以下の通りとする。
①**勝利は勝利の多い方**を上位とする。
②**勝点**が同じ場合は、得失点差の多い方を上位とする。
③**得失点差**が同じ場合は、得点の多い方を上位とする。
④**得点**でも同じ場合は、当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引き分けの場合は、抽選とする。
- 5(警告・退場
試合期間出場警告の累積場を命じられた選手は、次の
い。その後の処置については、大会規律委員会にて協議し、四国サッカー協会規律裁定委員会が決定する。
- 6(**選手交代**も含めて
あでの交代を認める。なお、各試合の登録後試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが該当試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみ、エントリー内容を変更することができる。選
回数に含まれない。
- (7) 選手の用具・ユニフォームチェックについて
イ) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショート及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
ロ) 正・副の2色については明確に異なる色とする。(GKはFPと色彩の異なる正・副2セット)
ハ) ユニフォームチェックは、試合開始60分前に会場本部(該当ピッチ)において行う。その際、ユニフォームは、正・副の両方を会場に持参すること。
ニ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
ホ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショート及びソックスのそれぞれにおいて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
ヘ) ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること(GKを含む)。また、ショートの番号については付けることが望ましい。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
ト) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
チ) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
リ) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
ヌ) アンダーショートおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
ル) その他、詳細は(公財)日本サッカー協会『ユニホーム規程』に則る。
- 8(ユニフォームに表示する広告は、(公財)日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
- 9(各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
選手証の写込みは選手証を登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
- 10(参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会、四国規律委員長が決定する。

11 観客内登録は、エントリー締め切り以降の選手の追加、変更は認めない。スタッフ登録数の制限は設けない。開場前までスタッフの追加、変更を認める。

12 試合の成立

水泳試合開始時棄権とみなす。

対し試合開始時間に遅れた場合は、当該チームを不戦敗とし、そのゲームを
試合事務局得相談事後の対試合が成立しない場合は、会場責任者・チーム責任者・
決定する。

対し棄権したおにの得失点差等で順位に影響を及ぼす場合は、棄権チームとのスコアは全
て削除する。

落雷事故防止に関する試合の取り扱いについて

試合開始後突如断電発生した場合

い場合、前半が終了している場合は、その時点のスコアにより試合成立とする。また、前半の途中で中断し、再開できない
進行場合出場選手断電発生後再開時、中断時点のものとする
むを得ない事情で当該選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。

13 その他

対以内と選手ベンチへの入場は、事前に登録されたスタッフ・選手の中からスタッフ

チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをプログラム左側に表記されているチームのベンチと
し、対戦チームを右側とする。

ハ) 選手登録は、必ず全員が傷害保険に加入していること。

ニ) 試合会場での応急処置は主催者側で行うが、それ以降はチームにて処置すること。

ホ) 試合球は持ち寄りとする。